

資格について

中学校・高等学校教諭については英語・社会・数学などの一種免許状が、2023年度入学生からは保健体育の一種免許状が取得できるようになりました。小学校教諭については教育学科で一種免許状が取得できます。教員採用試験についてもしっかりとサポートします。

教員

英語・社会・数学に加え、工業・商業でも採用

本学では多くの学科に教職課程を設けており、所定の科目を履修し単位を修得することによって、教育職員免許状を得ることができます。教育職員免許状を取得してもそれが教員採用に直結するとは限りませんが、本学からは教育に情熱を持つ教職志望者が教員採用試験に多数合格しています。ここ数年の傾向をみると、「英語」、「社会」、「数学」に加え、「工業」や「商業」においても合格者が出ており、本学の教職志望者は大いに健闘しているといえるでしょう。

教員をめざす学生をサポート

教員採用実績の背景には、教員をめざす学生一人ひとりの熱意と努力があります。大学としてもサポート機関として「教職課程センター」を設置し、教職課程の円滑な運営のための業務、教員採用試験対策講座の実施、そして教職に関わる情報の提供などの活動を行い、全力でバックアップしています。

- 教員採用試験対策講座
- 講演会の開催
- 教職に関わる情報提供・アドバイス
- 教育実習のための事前・事後指導
- 教員養成・教員採用試験に関する資料や問題集の貸出し
- 相談員による教員採用試験に向けた各種の学習支援
- 学習ボランティア、現役教員研修会への参加など教職関係学外活動斡旋

学芸員

博物館・美術館の専門職員

「学芸員」とは、博物館で働く専門職員のことです。博物館は、調査研究を基礎にして資料を収集し、その資料を整理し保管するとともに、社会に対し展示を軸とした教育普及活動を展開する義務があり、これらの仕事を行うのが学芸員です。

図書館司書・学校図書館司書教諭

本の魅力を案内し、教育活動を推進

図書館には、市立図書館を含む公共図書館、大学図書館、学校図書館や国立国会図書館、専門図書館があり、このような公共図書館に置かれる専門的職員を「司書」といいます。司書は公共図書館などで図書館資料の選択、発注、受入れ、分類、目録作成、貸出業務、読書案内などの業務を行います。本学では、図書館司書養成課程を設けている学科で、所定の科目を履修することにより図書館司書の資格を取得することができます。ただし、自治体が運営する図書館に勤務するためには、その自治体の採用試験に合格して公務員として採用され、図書館に配属される必要があります。

学校図書館での司書業務

「司書」とは別に、小・中・高・特別支援の各学校に設置されている学校図書館で司書業務を行う「司書教諭」という資格があります。司書教諭の資格は教員免許の取得が前提で、教職課程を履修した上で司書教諭課程の所定の科目を履修する必要があります。

日本語教員(基礎資格の認定)

外国語として日本語を教える仕事

「日本語教員」は、語学留学生や就学生、外国人研修生・労働者など日本語を母語としない人々に対して、日本語を指導する教師のことです。本学国際学部で基礎資格を得て、国家試験(2024年度開始)に合格すれば、「登録日本語教員」の資格が取得できます。

東北学院大学後援会資格取得報奨制度

資格取得の奨励と学生の資質向上を目的として、後援会費を納入いただいている現役の大学院生、学部生を対象に、在学中の国家資格取得者やTOEIC、TOEFLiBTなどの基準点取得者へ、資格取得報奨金を給付する制度です。

教職相談窓口 教職課程センター学習支援室(土橋キャンパス7号館1階)

詳しくは
こちら



工学部の主な取得可能資格

機械知能工学科

職業訓練指導員

技術と技能さらには理論を併せ持ち、公共職業能力開発施設及び認定職業訓練施設での訓練生の学科・実技などの指導に携わります。
卒業後、実務経験(2年)を積むことで受験資格が得られます。

電気電子工学科

第1級陸上特殊無線技士

陸上での無線設備や携帯電話基地局の技術的操作に必須の国家資格。
所定科目を履修し、卒業後に申請することで資格が得られます。

第一・二・三種電気主任技術者

事業用電気設備における電気使用に必要な資格。本学は、卒業後実務経験(1年)で第三種電気主任技術者が取得できる認定校です。

電気通信主任技術者

電気通信ネットワークの工事や維持、運用に関する監督責任者に必要な資格。所定科目を履修し卒業すると、電気通信システムにおける一部科目試験が免除されます。

環境建設工学科

学科共通

建築施工管理技士

建築物の施工計画、工程管理、品質管理、安全管理を担える国家資格。在学中に第1次検定を受験でき、卒業後は第1次検定の一部の問題が免除されます。

電気工事施工管理技士

建築物の建設や増築などに必要とされる電気工事の施工管理を担う国家資格。在学中に第1次検定を受験でき、卒業後は第1次検定の一部の問題が免除されます。

測量士

土地などの測量・図面作成を行うことができる国家資格。指定された科目の履修により、測量士の資格、測量士の受験資格が得られます。

環境土木コース

技術士

建築技術の専門家で国家資格。技術士補(JABEE認定により登録可)の資格を有した後、卒業後に実務経験(4~7年)を積むことで受験資格が得られます。

建築コース

一・二級建築士

建築物の設計・工事監理の専門家。指定された科目の履修により受験資格が得られ、一級は指定科目の総取得単位数によって必要な実務経験年数が異なります。

自動車整備士3級

エンジンオイルやギアオイルの交換、タイヤ交換、点検整備など、自動車の各装置の簡単な整備が可能になります。卒業後、実務経験(半年)を積むことで受験資格が得られます。

第3級海上特殊無線技士

沿岸海域で操業している船の無線機などを扱うために必要な資格。
所定科目を履修し、卒業後に申請することで資格が得られます。

第二種電気工事士

一般家庭におけるコンセントの増設や電気配線の工事に必要な免許。
所定の科目を履修し卒業すると、筆記試験が免除されます。

危険物取扱者甲種

引火性や酸化性、可燃性の固体・液体などを取り扱うために必要。
所定科目を履修すると、甲種危険物取扱者試験が受験可能です。

管工事施工管理技士

冷暖房設備や下水道配管など、配管設備工事全般の施工管理を担う国家資格。在学中に第1次検定を受験でき、卒業後は第1次検定の一部の問題が免除されます。

土木施工管理技士

ダムや橋、道路、河川堤防などの社会基盤設備の施工管理を担う国家資格。在学中に第1次検定を受験でき、卒業後は第1次検定の一部の問題が免除されます。

コンクリート技師

製造、施工、検査および管理などを行うコンクリートの技術者。指定された科目を履修し、実務経験(2年)を積むことで受験資格が得られます。

水道技術管理者

水道法において水道事業の設置者が必ず設置しなければならない技術面での責任者。卒業後、実務経験(2年)を積むことで受験資格が得られます。

インテリアプランナー

インテリアプランニングにおける企画・設計・工事監理などを行うインテリアの専門家。卒業後、実務経験(2年)を積むことで受験資格が得られます。

日本心理学会認定心理士

心理学の標準的基礎学力と技能を修得する基礎資格

「公認心理師」は、心理職の国家資格です。公認心理師は、心理学に関する専門的知識と技術を持って、心理に関する支援を必要とする人々の心理状態を観察・分析します。さらに、支援を必要とする人やその関係者に対して、関連する他職種と連携しながら、心理的援助を行います。人間科学部心理行動科学科では、公認心理師の国家試験受験資格取得要件となる学部科目を履修できます。

その他の資格

本学で取得できる資格と学科一覧は、78ページのQRコードからご確認できます。

給付額一覧に関する
詳しい情報はこちら



本学で取得できる資格と学科一覧はここからチェック!

